

## (5) 危機管理

静岡県東部地域の自治体・関係機関との連携等や各種訓練等を実施し、災害発生の防止、被害の軽減を図ります。

### ◆ 各種会議、訓練等の実施 — 自治体、関係機関との連携 —

洪水氾濫や土砂災害等による被害を軽減するために、地域の自治体、関係機関と連携を図るための連絡会議、また、出水等発生時に迅速に対応できるよう、各種訓練や重要水防箇所合同巡視等を実施しています。



令和4年度静岡県東部地域  
大規模氾濫減災協議会(R4. 9月)



令和4年度 重要水防箇所合同巡視  
(R4. 5月)

### ◆ 観測体制の構築 — 直轄管理区間内に気象観測網を整備 —

近年の集中豪雨や自然災害に備えるため、管内にリアルタイムな降雨状況を把握できるXバンドレーダーや雨量観測所20箇所及び河川水位観測所15箇所を設置しています。また、降雨状況や水位状況及びCCTVカメラ54箇所により河川・海岸の状況把握を常時実施しています。収集したデータより水防団や一般住民に対して水防警報・洪水予報をはじめとする各種予警報及び海岸水防警報を発令し迅速な情報提供を行っています。

なお、インターネットを通じ雨量・水位情報の提供を行っています。



ほんじゆく きせがわ  
本宿水位・流量観測所(黄瀬川)

R3. 7. 3 9:10頃の映像(R3.前線による大雨)CCTVカメラにより撮影。

この日は、黄瀬川上流の愛鷹雨量観測所にて累計808mmの雨が降り、本宿地点の時刻水位は、5.37mと戦後2番目の水位を記録しました。

◆ 災害対策車両の配備 — 来る災害に備えて所内に車両を配備 —

災害対策車両を事務所に配備し、災害時の迅速な対応を図ります。また、自治体からの要請により災害対策車両を派遣し支援を行います。



近年の排水ポンプ車稼働実績  
(R1: 令和元年東日本台風(三島市御園地区))



近年の排水ポンプ車稼働実績  
(H29: 台風21号(函南町新田地区))

◆ 災害時の広域支援 — 国土交通省のネットワークを生かした広域支援 —

○ 現地情報連絡員(リエゾン)の派遣



現地情報連絡員(通称:リエゾン)  
—フランス語で「組織間の連絡、連携」の意味—

災害時に圏域の自治体との連携を密接に図るため、圏域の18自治体とリエゾン派遣に関する協定を締結し、災害が発生又は発生するおそれのある場合には直ちにリエゾンを派遣し、情報収集や支援ニーズの把握を行います。

○ TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の派遣

大規模自然災害の発生や又は発生する恐れがある場合に被災した自治体等に対して、被災状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大防止、被災地の早期復旧等、またその他の災害応急対策に対する技術的な支援を行います。



現地調査の様子(令和4年台風15号)

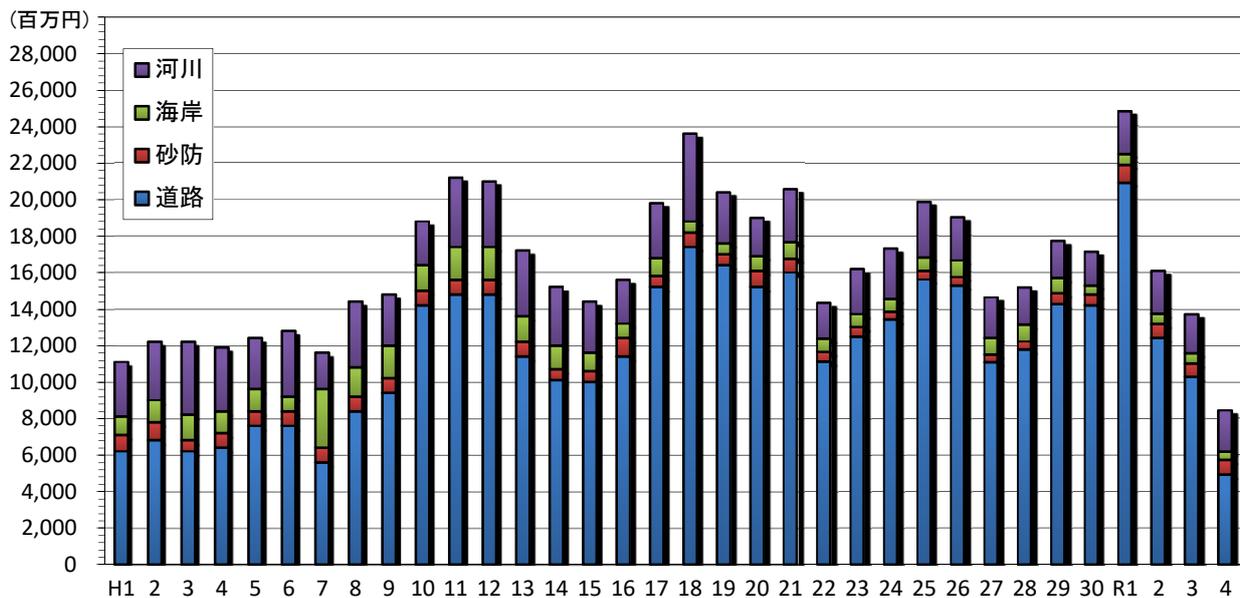
(参考) 令和5年度の事業費内訳

(単位: 百万円)

事業内容	区分 費目	区分				令和5年度 事業費計	前年度 当初	前年度 補正等	
		狩野川	狩野川 砂防	富海	士岸				
治水関係事業	河川関係	一般河川改修	1,236			1,236	1,129	590	
		総合水系環境整備事業	64			64	78	0	
		河川維持修繕	840			840	744	246	
		河川工作物関連応急対策事業	125			125	180	0	
	砂防関係	砂防事業		811		811	744	259	
	海岸関係	海岸保全施設整備事業			446	446	565	287	
	小計		2,265	811	446	3,522	3,440	1,382	
事業内訳	区分 費目	路線名				令和5年度 事業費計	前年度 当初	前年度 補正等	
		1号	138号	246号	414号				
道路関係事業	改築関係	伊豆縦貫自動車道	10			3,234	3,244	8,292	410
		一般道路	599	100	100	0	799	1,138	0
		計	609	100	100	3,234	4,043	9,430	410
	交通安全	交通安全		805			805	805	64
		計		805			805	805	64
	電線共同溝	電線共同溝		71			71	37	10
	小計						4,919	10,272	484
合計						8,441	13,712	1,866	

- ※ 上記金額は、「河川及び道路整備勘定」のみである。
- ※ 道路関係事業の路線別は、改築関係のみを記載している。
- ※ 上記金額は、百万円単位で整理しているため合計金額が合わない場合がある。

事業費(当初)の推移



# 沼津河川国道事務所の組織

